

■算数・数学■について

集団授業小学部算数・中学部数学担当熊澤です。さて、「うちの子、数学が苦手」という声を中学生の保護者様から毎日のように頂戴しております。いつから「数学が苦手」になったのでしょうか。

低学年でかけ算九九をただ「暗記」したあるいは「暗記させられた」生徒は、「数＝順番」として認識しているため、「数＝量」、「割り算」「単位量」「割合」「速さ」「比」「図形」等の原理・原則を知らぬまま中学生になります。数学が苦手になったのではなく、**そもそも「算数」ができていなかったのです**。それを「急に難しくなった」と表現しているに過ぎません。特に残念なのは、「割合・速さ」など小学校のテストでは、割り切れないから「逆で割った」、「かけ算にした」で正解となります。本当にそれで「100点＝理解できた」と言えるのでしょうか。「できた」でなく「当たった」ではありませんか。お子様の「SOS」ではありませんか。中1生6月「文字式」の単元から徐々に遅れを取り始めます。

中学生になってから「数学」を鍛え直すには多くの労力と時間を要します。小学生のうちに「できる」ようにしておくことが「将来の選択肢を増やす」ことにつながります。

熊澤 洋一